

移住者を増やしたい。
でも、それより先に聞きたい問いがある。

筑北村を"好きな人"を増やす。

住んでいなくても、来なくても。
この村のことが気になる人を、都市の中に増やしていく仕事です。

筑北村という場所

長野県のほぼ中央、東筑摩郡に位置する筑北村。人口約 3,700 人。四方を山に囲まれた小さな村です。

四季それぞれに表情を変える里山と集落や田園風景の背景に雄大な北アルプスを望むことができます。農家の軒先で立ち話、地域の行事、子どもの声。観光スポットを探してもなかなか見つからないけれど、「暮らしている人がいる」という温度がある場所です。

長野市・松本市へは車で 40～60 分。信州の自然の中で暮らしながら、都市との行き来もそれほど苦ではない。移住者にとっては「チャレンジしやすい田舎」として、少しずつ選ばれ始めています。

はじめに、正直に話したいことがあります

筑北村も、「移住者を増やしたい」という言葉を使ってきました。

でも、村の誰かに「移住者が増えたら、具体的に何がいいの？」と聞くと、答えに詰まることがある。税収？担い手？地域の活気？それは本当に移住者が増えないと実現しないのか？

この問いに正直に向き合ったとき、見えてきたことがあります。

移住者を増やすことは「目的」ではなく「手段」だった。

本当の目的は、「この村が好きな人の総量を増やすこと」ではないか。

住んでいなくても、この村の **Instagram** をフォローして毎日見ている人。ふるさと納税で味噌やはちみつを買っている人。「いつか行ってみたい」とスマホに保存している人。遊びに来て地元の人と話した人。

そういう人たちが、この村の周りに少しずつ増えていくことが、長い目で見た「むらづくり」の本質じゃないかと、私たちは考えています。そして、その「最初の接点」をつくる場所が、**SNS** なのではないかなと思うのです。

■ **そして、村が直面している現実**

筑北村には現在、**Instagram・Facebook・X** など **5～6** つの **SNS** アカウントが存在しています。しかし現実には――

- ・観光情報の投稿しかなく、移住定住・日常の姿・村の人が伝わってこない。
- ・アカウントがバラバラで、統一的な運用体制がない。
- ・専任担当者が不在のため、定期的な更新ができていない（メインの観光アカウントは **3～4** 月頃が最終更新）。

「筑北村ってどんなところ？」という問いに、今、村は答えられていません。でも、専任の人が一人いるだけで、きっとこの状況を大きく変えることができます。

むらづくりの構造――「好きな人」にはレベルがある

むらづくりとは、下の層から上の層へと人を動かしていくプロセスです。

定住・移住者	→	村に実際に住む人。むらづくりの「核」。
移住検討者・お試し移住者	→	「住んでみたいかも」と動き出している人。
訪問者・関係人口	→	来たことがある、ふるさと納税した、継続的に見ている人。
フォロワー・ファン	→	まだ来ていないが、筑北村が気になっている人。 SNS 運用が生み出す層。

一番下の「フォロワー・ファン」層を作ることが、最初のステップです。ここがゼロのまま、移住者だけを増やそうとしても土台がありません。

そしてもう一つ大切なことがあります。外に発信し続けることは、村の中の人たちが「自分たちの村には価値がある」と気づくきっかけにもなります。農家のおじさんが「うちの田んぼ、

インスタで見た人が来た」と知った時——その表情の変化が、筑北村が目指す「むらづくり」の一歩だと思うのです。

あなたに担ってほしいミッション

役割名：初代 村公認インフルエンサー（仮）

運用プロジェクト名：「ほくほくちくほくプロジェクト」

SNSは道具です。本当にやってほしいことは、筑北村という場所に「関わりたい人」を増やし続けること。その手段の中心がInstagramであるというだけです。

このミッションの本質

「筑北村を知らなかった人が、気になる人になる。気になる人が、来た人になる。来た人が、住む人になる。」

この流れを、3年かけてつくること。あなたは筑北村が初めて公認する「村のインフルエンサー」として、その「最初の扉」を開ける仕事を担います。

■ 具体的な仕事の内容

公式アカウントの運用を「ほくほくちくほくプロジェクト」と名付けました。「ほくほく」温かい気持ちと「筑北」を重ねた、村が大事にしたいトーンです。

① 「外へ」の発信——筑北村のファンをつくる

- ・村の四季・農業・住民・行事・移住者の声などを動画・写真で取材・撮影
- ・Instagram リール（縦型動画）を週2回以上を目標に投稿。企画から撮影・編集・投稿まで一貫して担当
- ・「観光PR」ではなく「この村で暮らすとはどういうことか」が伝わるコンテンツを作る
- ・コメント・DMで「ファン」と対話し、関係人口を育てる

② 「内へ」の作用——村の人を巻き込む

- ・農家・職人・移住者・子どもたちを取材し、「村の人の顔が見える」発信を積み上げる
- ・発信を通じて村民が「自分たちの村の価値」を再発見できる機会をつくる
- ・役場に常駐しながら、村長・担当者・地域キーパーソンと日常的に関係を築く（村長取材も担当）

③ アカウント戦略・むらづくりの設計

- ・現在バラバラな 5～6 アカウントの整理と、「移住定住を目的とした公式アカウント」としての方針を策定
- ・フォロワー数・投稿頻度・問い合わせ件数（移住相談等）を複合的に見ながら改善
- ・他自治体の成功事例をリサーチし、村に合う手法を提案
- ・企画内容は着任者に委ねる部分が大きく、お試し期間中に提案書を作成いただく形も想定しています

機材・制作環境は村が整備します

カメラ・編集用 PC・Adobe サブスクリプション・GoPro などは村の備品として整備予定。

「機材がないから発信できない」という状況は作りません。
投稿の最終承認は村担当者が持つ体制のため、「発信の責任を一人で背負う」こともありません。

3 年間のイメージ

	1 年目	2 年目	3 年目
テーマ	知る・撮る・整える	ファンを育てる	むらづくりが動き出す
主な活動	・村の四季・農業・人を取材 ・リール週 2 回以上投稿・型を確立 ・既存 5～6 アカウントの整理・方針策定 ・他自治体の成功事例リサーチ ・村のキーパーソンとの関係構築	・コメント・DM で「ファン」と対話 ・移住相談問い合わせの発生を目指す ・村民を巻き込んだイベントコンテンツ企画運営 ・村長・地域行事の取材を主体的に ・フォロワー数・エンゲージメント改善	・「気になる」から「来た」人が出始める ・村民が発信を誇りに感じ始める ・任期後の継続スキームを設計 ・関係人口ネットワークの土台完成 ・自分自身の次のキャリアへ

3 年が終わった時、「ほくほくちくほくプロジェクト」には相応のフォロワーがいて、その中から移住の問い合わせが来るようになっている。村の人たちが「あの人が発信してくれているおかげだ」と言っている——そういう 3 年間にしたいと思っています。

■ 3 年後の選択肢

- 筑北村に定住し、業務委託として継続発信（卒業後の継続委託単価設定・スキームと一緒に設計します）
- 村の HP 管理・動画制作など、Web アウトソーシング全般への展開
- ケーブルテレビとの連携
- 会計年度任用職員としての継続雇用（状況により）

3 年後の働き方は、あなた自身が選べるようにしたい。任期中の実績（フォロワー数・投稿頻度向上等）をもとに、一緒にキャリアを描いていきます。

こんな方に来てほしいです

■ 必須（これがあれば大丈夫）

- Instagram の運用経験がある方（個人・法人・自治体問わず。フォロワー数より「続けてきた」実績を重視します）
- 動画・写真の撮影から編集・投稿まで、自分でできる方
- 「なぜこの発信をするのか」を考えながらコンテンツを作れる方
- 村の人たちと日常的にコミュニケーションを取ることが苦にならない方
- 「移住者を増やす」より「この村が好きな人を増やす」という考え方に共感できる方
- 普通自動車運転免許（AT 限定含む）
- 筑北村への移住・定住を本気で考えられる方

■ あると嬉しい（必須ではありません）

- リール動画の制作・編集の実績（Adobe Premiere / CapCut / DaVinci Resolve 等）
- 自治体・地域・観光系の SNS アカウント運用経験
- フォロワー分析・インサイト読み解きの経験
- 「関係人口」「二地域居住」「地方創生」あたりの文脈への理解

■ こんな方には向かないかもしれません

- 「投稿数をこなすこと」自体が目的になってしまう方（数より意図が大事です）
 - 地域の人たちとの関係構築を面倒に感じる方（ここでは人との関わりが全ての土台です）
 - 短期間で目に見える成果を急ぐ方（信頼とフォロワーは地道に積み上がります）
-

受け入れ体制とサポート

■ 役場・担当者との連携

勤務場所は筑北村役場内。企画財政課の担当者と連携しながら活動します。投稿内容の最終確認は担当者が行い、村として責任ある発信を担保します。「一人で全部決めなくていい」環境です。

村には「むらづくりをしたい」という思いを持つ職員もいます。あなたの発信が、村の内側でのむらづくりの議論にも火をつけていくかもしれません。

■ 担当者より

筑北村 企画財政課 沖より
豊かな自然と昔ながらの風景が残りながら、県内の主要な市にもアクセスでき、鉄道・高速道路もあって交通の便もよい、ギャップのある村です。
この村を知って、好きになって、ファンになってもらうために一緒に考えながら、お持ちのスキルや感性を発揮してもらえる方を探しています。

募集概要

募集人数	1名
活動期間	採用日から最長3年間（年度ごとに更新確認）
採用予定スケジュール	令和8年12月1日予定（転居等の状況により応相談）
雇用形態	会計年度任用職員 ※即応性・日常的な取材対応・村長取材への対応のため
給与・待遇	1 報酬の額 月額（218,600円）※改定の可能性あり 2 期末手当及び勤勉手当の額 期末手当及び勤勉手当（計算方法：報酬の月額（日額又は時間額で報酬が定められている場合は、基準日前6か月以内の報酬の1月当たりの平均額）に期別支給割合及び在職期間別割合を乗じて得た額）

	3 通勤費 1月当たりの通勤回数を21で除して得た数を給与条例第24条に定める額に乗じて得た額(10円未満の端数があるときは、これを切り捨てた額とする。) 4 時間外勤務、休日勤務又は夜間勤務に対して支払われる報酬等の割増率 (1) 時間外勤務(1日当たり7時間45分、1週間当たり合計38時間45分に達するまでの間の勤務に対しては0%(午後10時から翌日の午前5時までは25%)) (2) 休日勤務 35% (3) 夜間勤務 25% 《詳細》「筑北村パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例」第3条 5 支払日 (1) 報酬 15日(31日締め) (2) 期末手当及び勤勉手当 6月30日、12月15日 (3) 通勤費 15日(31日締め) 6 支払方法(指定口座への振込) 7 給与支払時の控除(法令の規定に基づくものを除く。)(無) 8 昇給 (無)
勤務時間	始業 8 : 30 終業 17 : 00 7 時間 30 分勤務 週 5 勤務 (休憩 12 : 00~13 : 00) 週休日(毎週 土、日曜日)(振替: 有 ・ 無) 国民の祝日に関する法律による休日 年末年始の休日(12月29日から翌年1月3日まで) その他(休日の代休日) 《詳細》「筑北村会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則」第4条、第5条、第9条、第10条 1 年次休暇(合計 3日) ① 繰越し分 0日 ② 3日(任用時) ・時間単位で取得することができます。 2 その他の休暇 (1) 有給(公民権行使、官公署出頭、現住居の滅失等、出勤困難、退勤途上、結婚休暇、忌引、母子健康診査、産前、産後、夏季休暇等) (2) 無給(保育時間、子の看護、短期介護、介護休暇、介護時間、生理日の就業困難、妊産疾病、公務上の傷病、私傷病、骨髄等ドナー) 3 時間外勤務代休時間(有 ・ 無) 《詳細》「筑北村会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則」第12条、第13条 「筑北村会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する訓令」
勤務場所	筑北村役場内(本人希望により別室対応可・協力隊の部室兼用も検討中)

	※村長取材等が発生するため役場への常駐が必須条件
投稿の運用体制	企画・撮影・編集・投稿は着任者が担当 投稿内容の最終承認は村担当者（沖さん）が保持 ※品質担保とリスク管理のための体制
投稿頻度の目安	Instagram リール（縦型動画）週 2 回以上
評価指標（KPI）	フォロワー数の推移／投稿頻度／問い合わせ件数（移住相談等）の複合設定 ※投稿頻度よりも「問い合わせ件数」を重視する方向で検討中
機材・設備	カメラ・編集用 PC・Adobe 等は村の備品として整備予定 （GoPro は既に村に保有あり／デュアルモニター等も相談可）
副業	業務時間外であれば可（要相談）
住居	職員住宅 （男性 西条 4238 番地 2） （女性 西条 3975 番地 1） DIY をやってみたい方には別の物件もございますので、詳しくは企画財政課へご連絡ください。

応募条件

- ・地方公務員法第 16 条に規定する欠格条項に該当しない方
 - ・3 大都市圏の都市地域または政令指定都市に生活の拠点があり、採用日以降に筑北村へ住民票を移せる方
 - － ※3 大都市圏：埼玉・千葉・東京・神奈川・岐阜・愛知・三重・京都・大阪・兵庫・奈良の全域
 - ・申込時点で 20 歳以上の方
 - ・普通自動車運転免許（AT 限定含む）をお持ちの方
 - ・SNS の運用経験があり、実績を示せる方
 - ・心身ともに健康で、誠実に活動できる方
 - ・任期終了後も筑北村への定住・継続的な地域活動への意欲がある方
-

応募から着任までの流れ

① エントリー

募集様式 1 及び**募集様式 2** に必要事項を記入していただき、**現住所地の住民票**と併せて下記住所へ郵送してください。

（締切：10 月 31 日 土曜日）

郵送先：長野県東筑摩郡筑北村西条 4195 番地 企画財政課 宛

② 書類選考

SNS 運用実績（アカウント URL や数字）をご提出いただきます。選考結果はメールにてご連絡します

③ オンライン カジュアル面談

活動内容・筑北村の暮らし・むらづくりへの考え方など、気軽にお話しします

④ おためし協力隊+最終面接

筑北村での活動体験と最終面接を実施します（11 月予定）。交通費は自己負担

⑤ 内定・正式採用

12 月正式採用予定

WEB 個別相談 随時受付中

「むらづくりに関わりたいけど、自分に合っているか不安」「SNS 経験はあるけど地方移住は初めて」——そんな段階でもお気軽にお申し込みください。

最後に、正直に言います。

筑北村は、「移住者を増やしたい」という言葉をずっと使ってきました。でも、その先に何があるか、まだ答えが出ていない部分があります。

そこで、一緒に答えを見つけてくれる人を探しています。

SNS を運用しながら、フォロワーが増えていく中で、コメントや DM で「いつか行きたい」

「移住を考えている」という声が届いた時——その声を、村の人たちに届けてほしい。

「外の人が、うちの村を見てるんだ」という実感が、村の中に広がっていく時、むらづくりは動き出すと思っています。

初代・村公認インフルエンサーとして、
あなたが発信するたびに、
筑北村を好きな人が、どこかに増えていく。
それが「むらづくり」の始まりになります。

■ お問い合わせ

〒399-7501 長野県東筑摩郡筑北村西条 4195

筑北村役場 企画財政課

TEL : 0263-66-2111

E-mail : kizai@vill.chikuhoku.lg.jp

筑北村ウェブサイト : <https://www.vill.chikuhoku.lg.jp/>

観光情報 Instagram : https://www.instagram.com/chikuhoku_kanko/